

OVER 4

[R-18]

over-RE:write vol.4



WRITE

OVER 4

[R-18]

over-RE:write vol.4



WRITE

3巻までの overREwrite

2020年9月
ヒーロー達によって
悪の組織は壊滅。

研究施設は
爆破され
町に平和が訪れる

その立役者は
国際機関AHOの
管轄するヒーロー
コードブルーであった

だが悪の組織は
「最高傑作」の
怪人を

タイムマシンで
過去へ送り
込んでいた

アホー
アホー



嗅覚での洗脳能力と
欲望に応じて怪人に
変える『欲望の泥』を
持つ怪人は

「コードブルー」に
なる前の
『猫塚正義』に接触

そして
その仲間である
コードイエロー
ともども

身も心も
ヒーローとは程遠い
「いい子」に染め上げ

AHO本部へ
潜りこませる

隠密に進めるより
本部攻めを進めた
方が早そうだ

呂馬君にも
私と同じ

気付かぬ間に
少しずつ

なのに
心地いい



時間はかかり
ましたケド

も
ましたね



そして司令も
コードレッドも
汚染されてしまい

ああ…
まかせておけ…

ら指令
かお留守
すよ
サボらずに
仕事



他の職員は
レベル2
以下です

何者かがそれを
阻止した
のであった

まずは一斉
除染して

記憶の補正

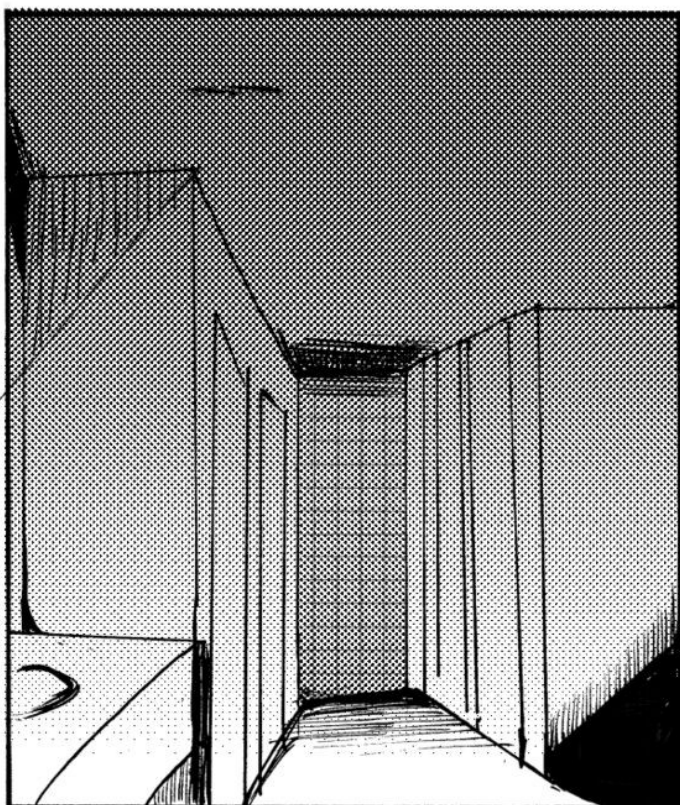
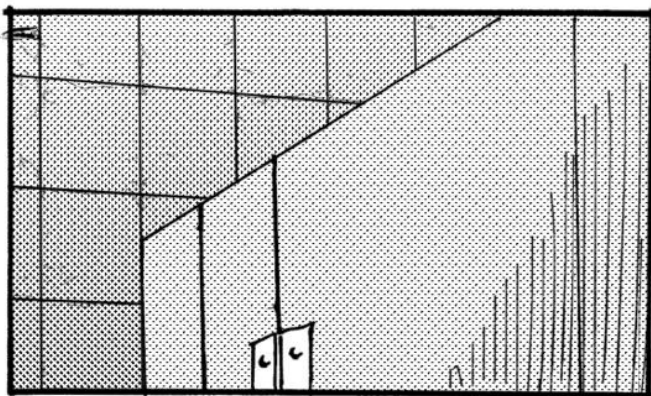


これで3人
揃って

皆を「良い子」に
しに行けるね



事だから



タイムスリップ
してから
あと1週間で1年

長かった…

懸念事項だった
ヒーロー達の
うち

もう二人は
もう僕の能力で
脅威では
なくなった

僕の体液を
取り込んで
「いい子」に
なったら

まず二度と
元には戻れない

僕のニオイと
体液なしでは
もう生きていけな
なってしまった

「欲」を
抑えられ
なくなる

そういうものに
変わってしまった



真面目な
コードブルーは

興味を持ったなら
一直線で
勉強熱心

交尾の覚えも早く
堕ちるのもの
早かった



二人とも
教え込んだ僕と同じに
なりたいたいと願
望の泥を出せるよう
に
まった

コードイエローは
誰かの役に
立ちたいという
気持ちが強く

刷り込んだら
正しいと信じるま
ま
積極的に他人を
欲望の泥の影響下
に
置こうとしてく
れる



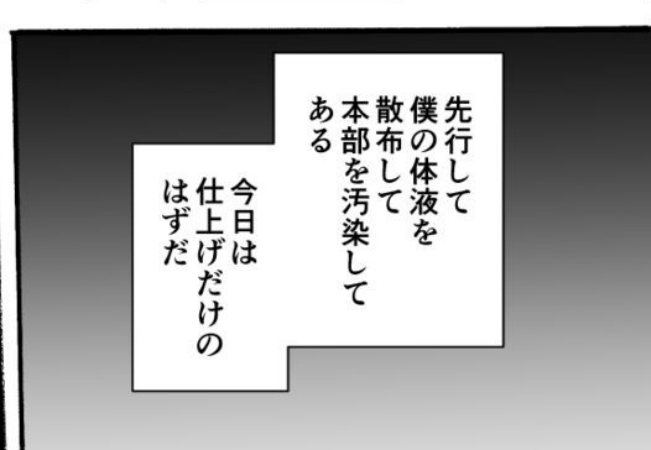
彼らは本部の
仕上げに行っ
て
くれている

コードレッドも
汚染まで
もう一息だと
言っていた



彼らが僕の元へ
帰ってくると
いうことは

全てが
完了したと
いう事



先行して
僕の体液を
散布して
本部を汚染して
ある

今日は
仕上げだけ
は
ずだ

やっと――



これできっと
回避できる...

あの惨劇を...
きっと...



ん?

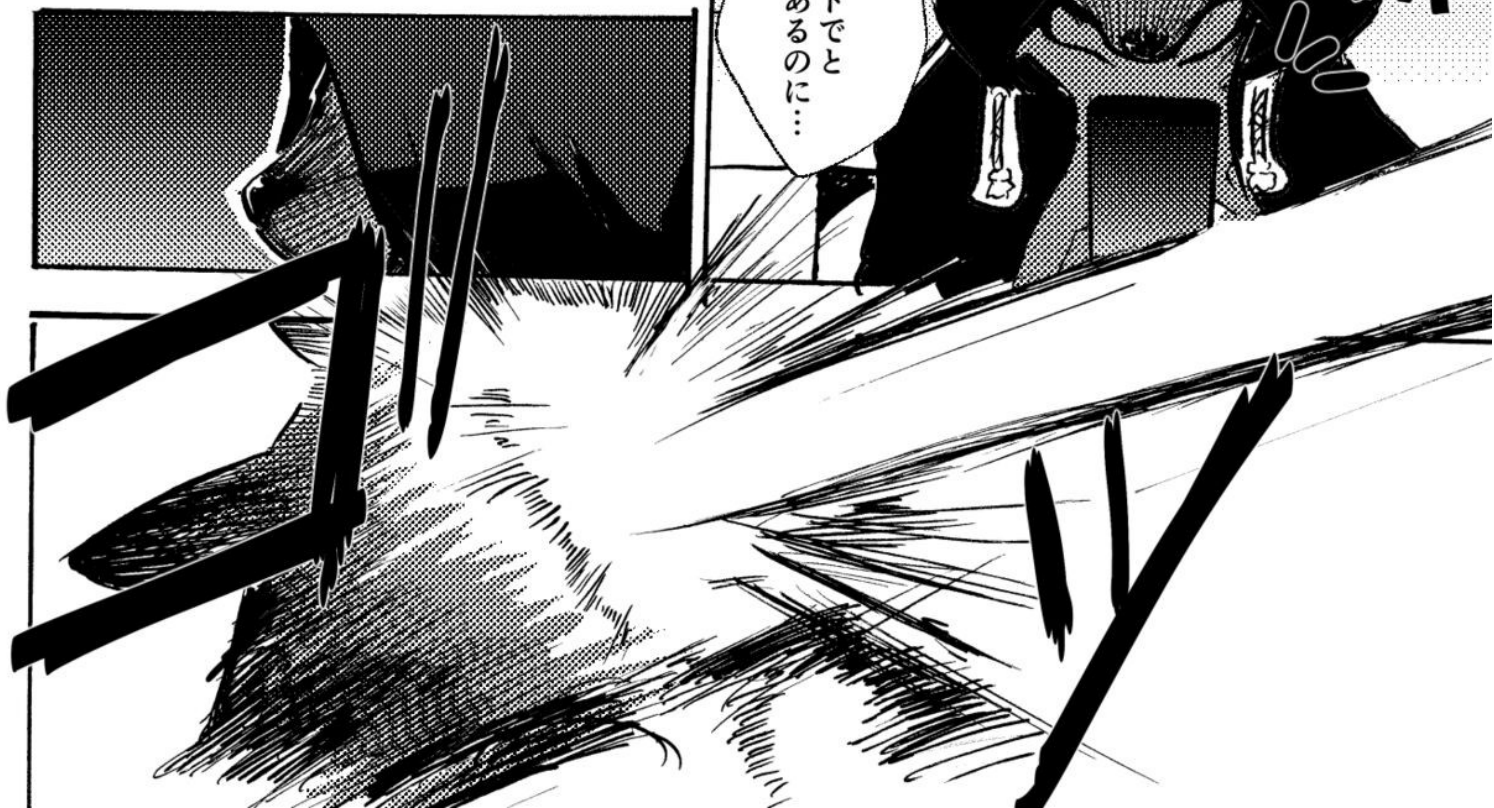


見つけ

...着信?

連絡は
チャットでと
言っているのに...

TAP





壁をぶち抜いて
攻撃!?

一体誰が!?

クラッ
クラッ

一帯を封鎖



防護スーツ
越しでも
嗅覚で洗脳
出来る奴です



一般隊員は
10m以上
下がって
欲しい
ですケド



っ
何が!?



この悪は

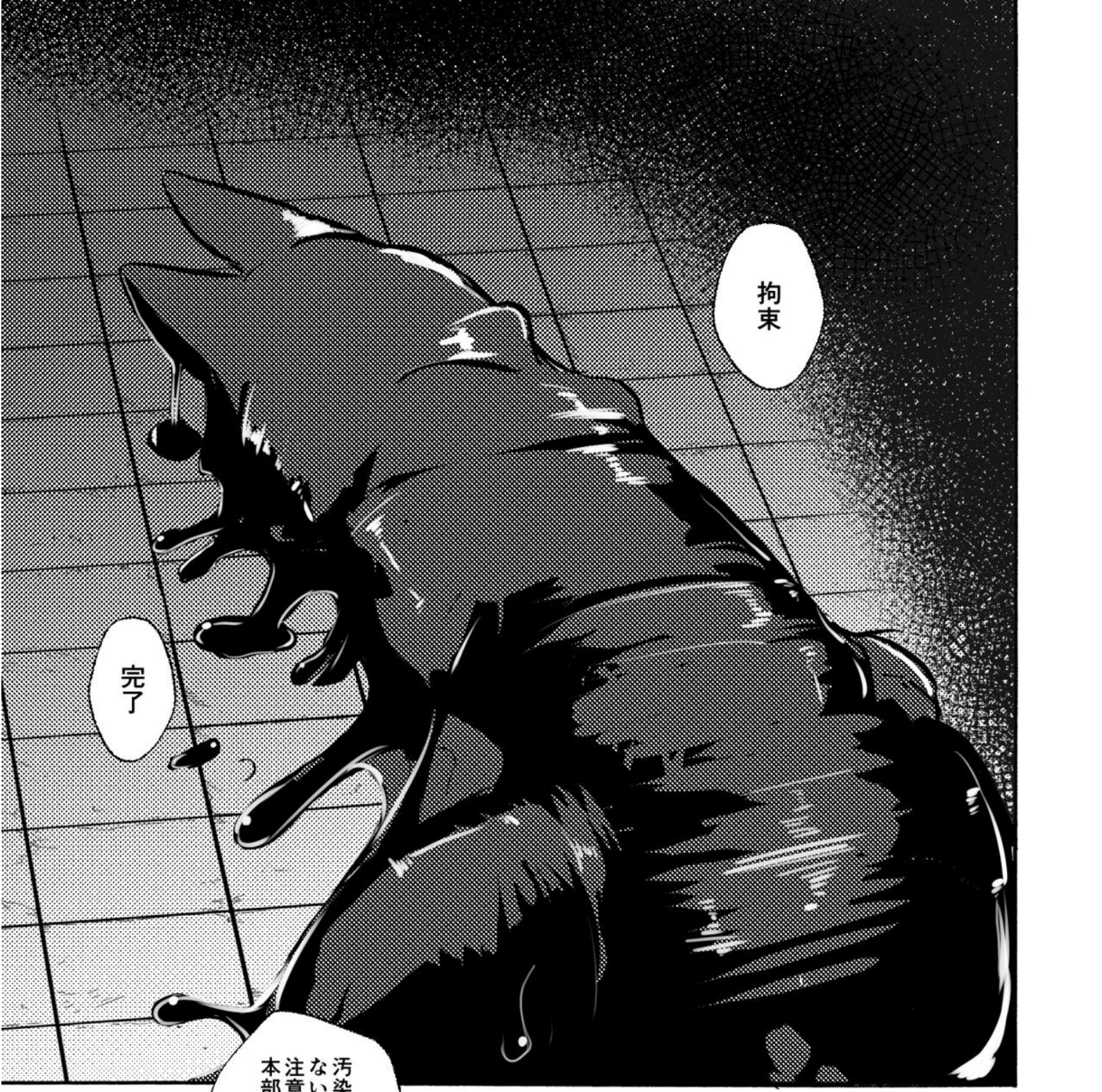
耐性のある
僕

コードブルーが
処理します









拘束

完了

汚染の可能性が
ないよう
注意しながら
本部へ搬送

第1級
封印処置と
します



汚染濃度は
だいぶ
下がりましたが

これ以上は
正常値に
すぎません

後遺症は
残るか

あれ

何だこれ

よし
ここからは
手筈どおりに

はい！

意識
戻りました

私の声が
聞こえますか！？

あつ…

聞こえます…
ケド…

記憶の
修正準備を

うるさいな

僕は
ヒーローで…

えっと…
なんだっけ

眠…

目を
閉じている間に

体の中の
ひどく悪いものが
消されていく
不思議な感覚が
あった

ただ何も
思い出せなくて

何か
大切なことが…

次に目を覚ますと
秋穂君と呂馬君と
同じ部屋だった

どうやら本部が
襲撃されたようで
深刻な汚染が
起きていたらしい

その影響で
ここ1年くらいの
ヒーロー活動の
記憶があやふやに
なっているようだ

名前は？

猫塚セイギ
ですケド…

将来の夢は

安定した生活

そのサンプルを
嗅いでみて

くっさ!!
おっさんの
ニオイが
します

早く持って
行って
ください

欲望の泥に
過剰な反応

どう考えても
意識しているな

封印処置も考えて
良いのではないかね

いえ…
彼にとって
酷ですが…

このまま
退院させ
ましょう

む…
君がそう
言うなら
構わないが…

ありがとう
ございます

かくして

退院の日は
あっけなく訪れて

僕達は
日常に戻った

久しぶりな
気がする
平和

争いといえば
余ったプリン
を奪い合う程度
の気楽な日常

そして
夜は――

なんとなくで
過ぎていく
時間



ブルーは
考えすぎ

レッドは
猪突猛進過ぎ

イエローは
自分の体を
敵に晒しすぎだ



汚染以降
司令自ら訓練を
付けてくれる
ようになった

昔は現場で
ブイブイ言わせて
いたらしく
その実力は
折り紙付きだ



訓練後の
アイスは無しだな

どうして負けたか
ちゃんと
考えてくるように



悪いが君たちが
切り札なんだ

司令は
そう言って
申し訳なさそう
にしていた

シャワワワワワ

訓練が終わったら
シャワーを浴びて

その後は
送迎が付く
ようになった

遠目から
護衛もついて
いるという



正直

窮屈で
退屈だ



少し羽目を
外したくなって
しまったのだ

はたん



家から
抜け出して



いそ
いそ

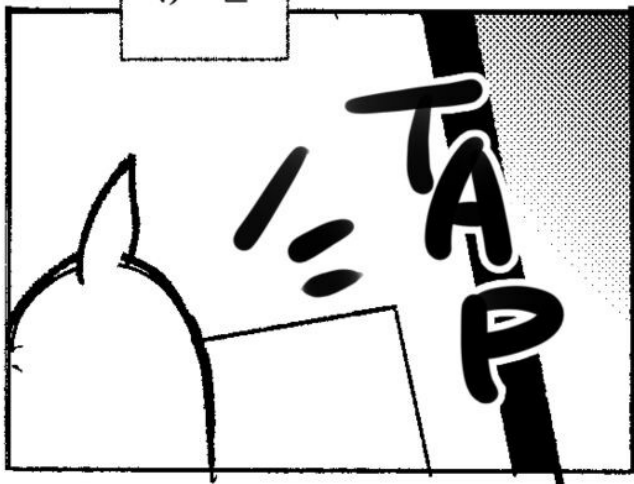
夜の散歩に
出るのが
趣味に
なってしまった



AHOがかけた
スマホの
操作制限も
外して



「そういう」
アプリで
募集をかけ



TAP





鍵を閉められると
逃げ場がない

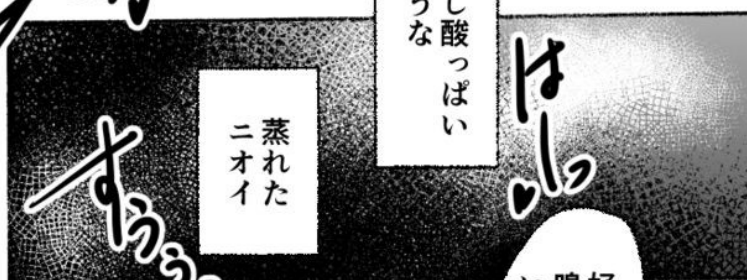


狭くて身を
寄せ合うしかない
暑苦しい空間



まだ
パンツ姿なのに
噓せ返るような
オスのニオイ

それだけで
心臓が
はちきれそうになる







ちんぽがっ
玉の裏がっ

パンツの中で
きゅんって

くちゅ...

ちくび
きもちい

あたまのなか
やば

れっ

ちゅる

ん

るる

びゅる

ニオイと
乳首だけで
イっちゃった

パンツ
ぐちよ
ぐちよだ

あら

それはそれで
面白いけどさ



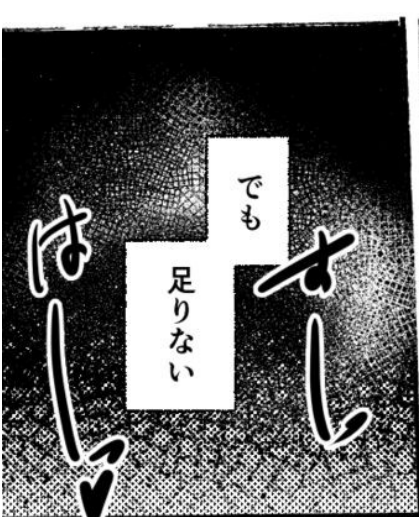


我慢できる
わけない…

チンポの
ニオイ…



皮を
剥いて



でも

足りない



頭の中に
こびりついた
もっと強烈な
何かが…



頭の中で
何かがはじける
みたいで



中が
強くて

濃くて
鼻の奥まで
どろどろに
なりそう



びり
びり



今は目の前に
ちんぽがある

違う…



でっか…

濃厚で
とろけそうで
まるでチーズようで



一本しか
喰えられない



は…

もう一本…

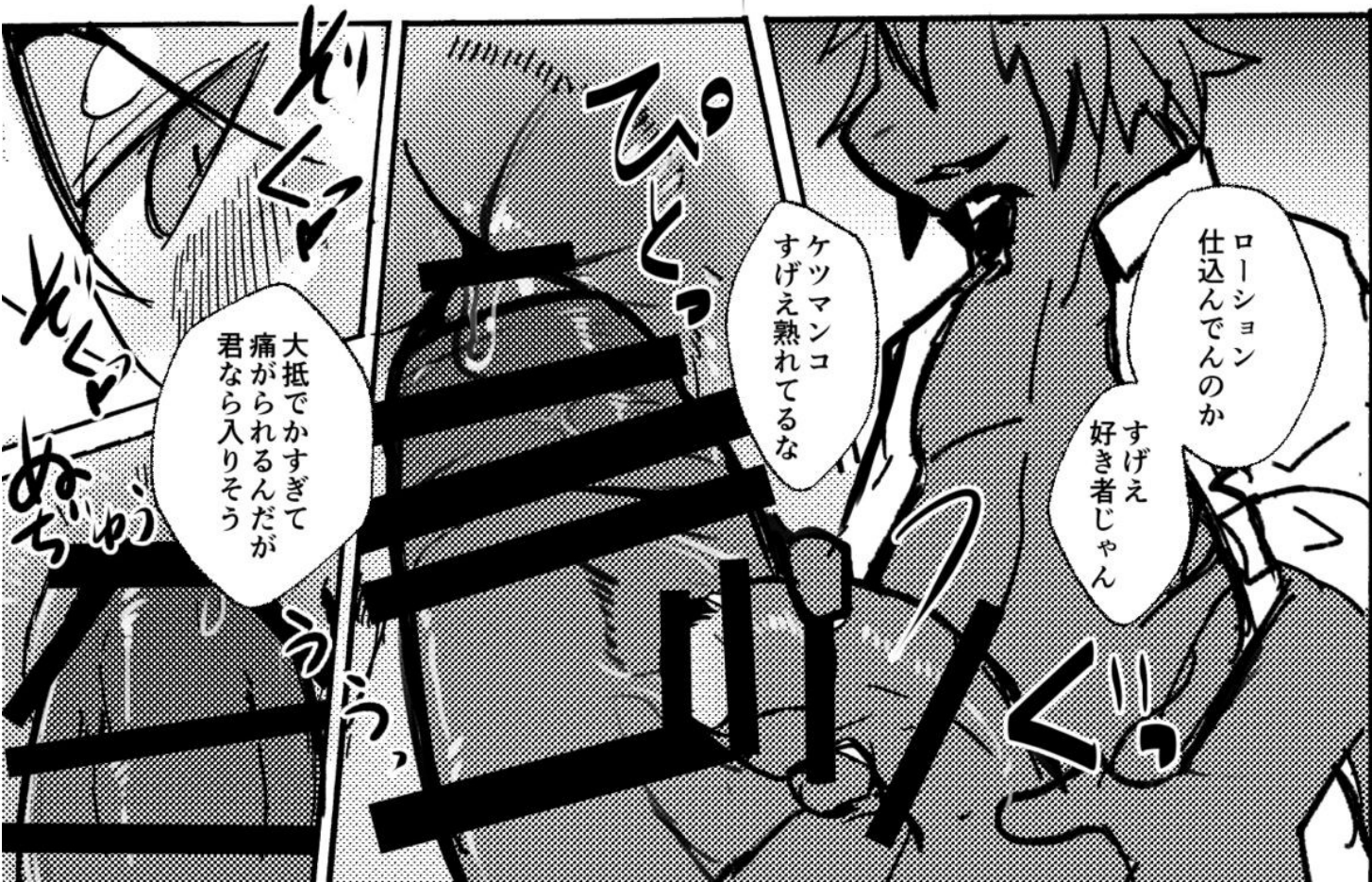


勿体ないけど…
食べたい…



こんな事
したことが
ない筈なのに

どうすればいいか
身体がわかってる



ローション
仕込んでんのか

すげえ
好き者じゃん

ケツマンコ
すげえ熟れてるな

大抵でかすぎて
痛がられるんだが
君なら入りそう



めり,

挿入っ

めり,

おくっ

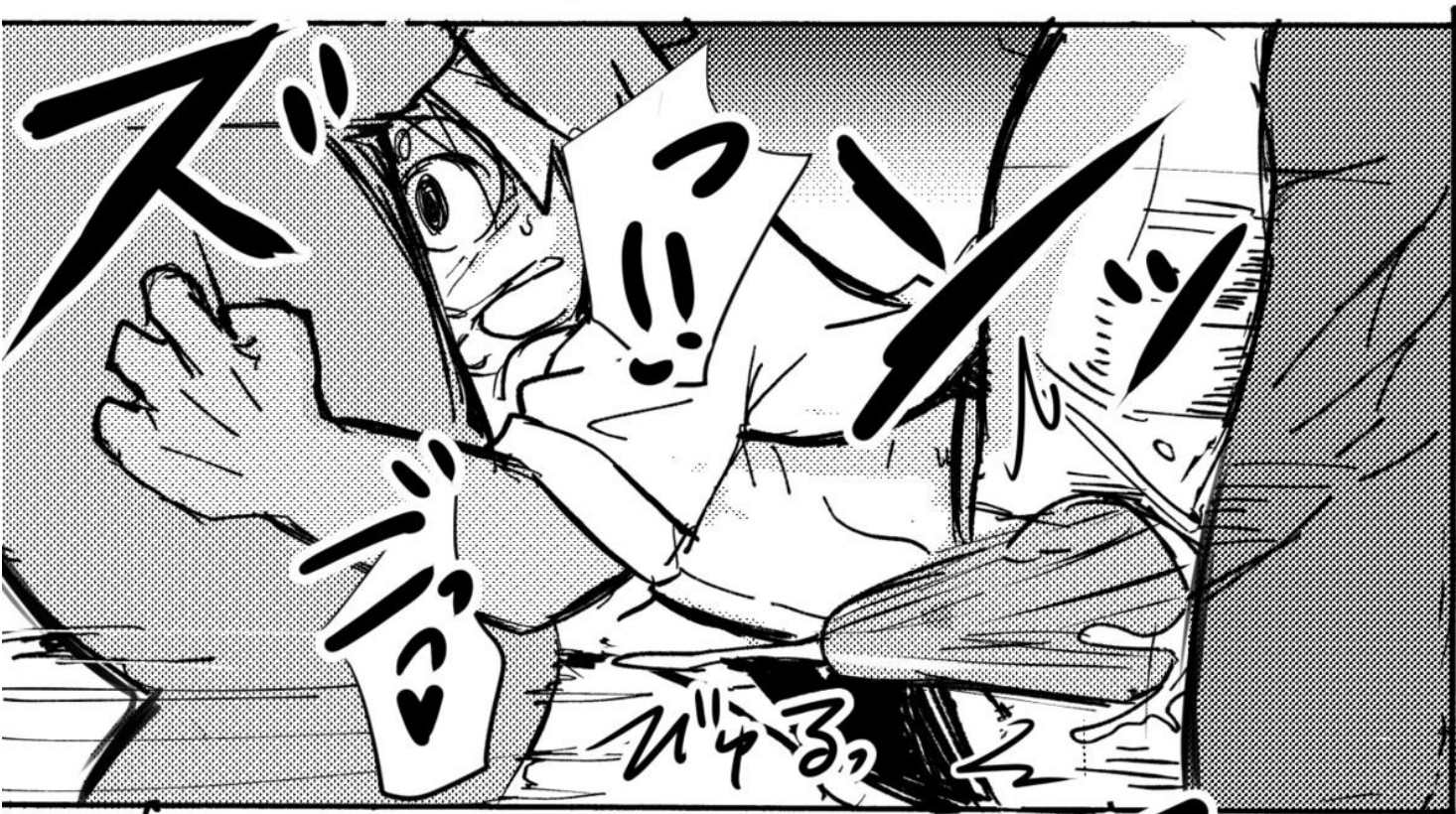
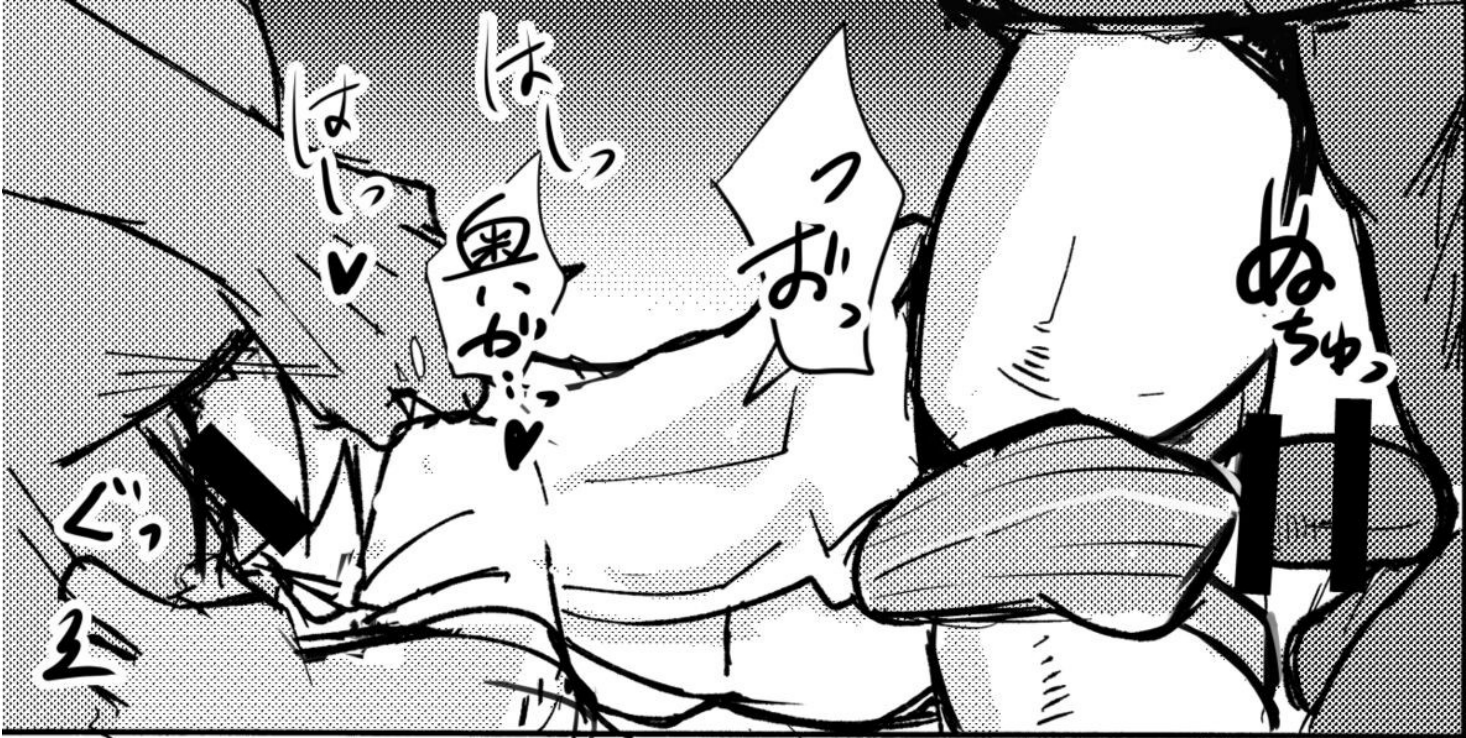
やばっ

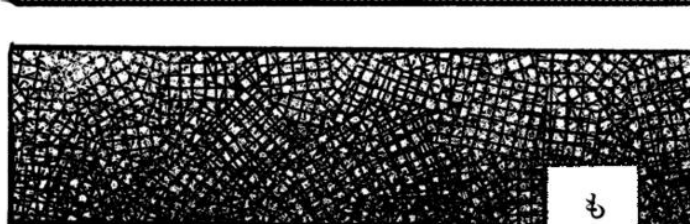
4か

お

おっお

ん





じゃありがと

また相手してよ

申請送っとくね

はたん

...

うっ

いくら中に出されても
熱が収まらない

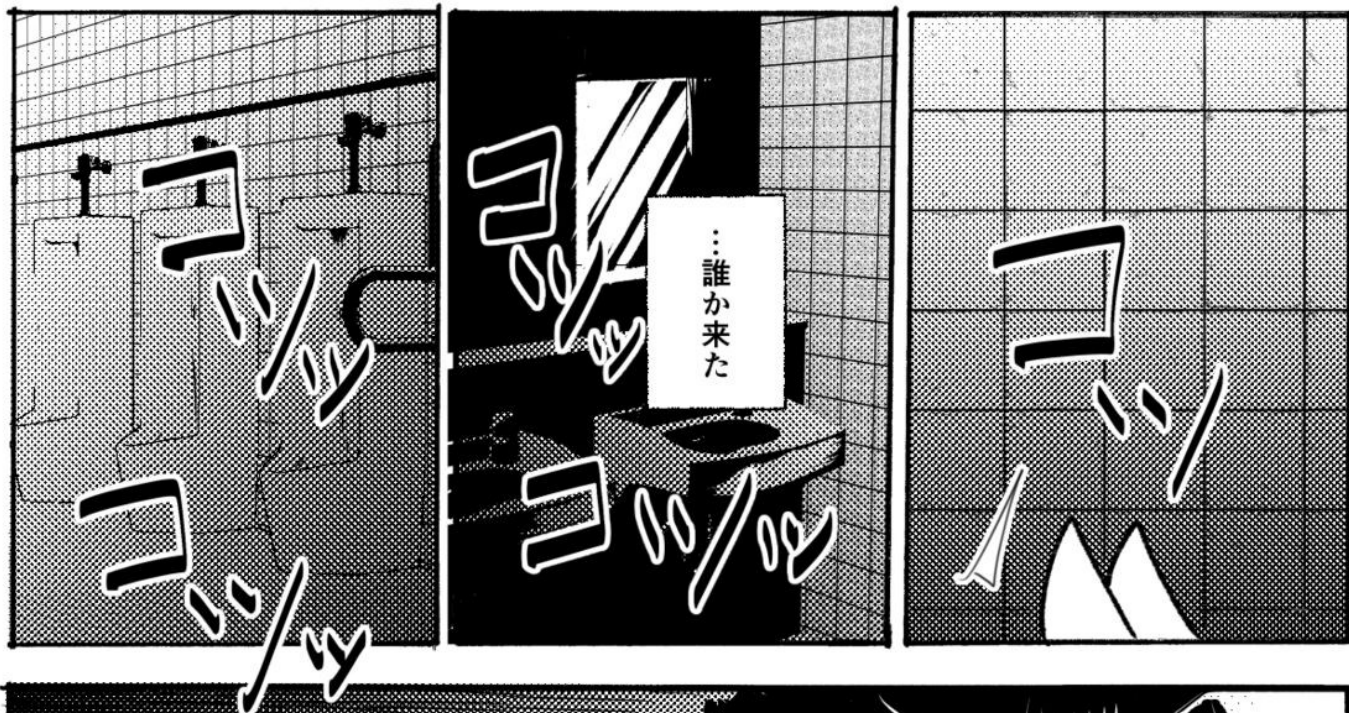
誰から構わず
発情して
交尾してしまう

こうやって
気持ち悪がっても
また明日には
交尾したがつてしまう

こんなの
「悪い子」だ

バシッ

グッ



あえて言おう

君の違和感は正しい

君は悪^{ワル}に操られ染まってしまった

交尾漬けになりそれが善い事だと思ひ込まれ

悪の手先になり汚染を広げた

だからその記憶を封印した

負い目を感じて今後の生活に支障が出ないよう配慮したつもりだった

だが

君の中には後遺症が残ってしまった

オスを求めて交尾したがってしまおう

耐え難い欲求を抑えられなくなってしまう

そして恐らくそれは今後も君を苛ませ続け

悪への怒りを覚えさせるだろう

その怒りを

我々は必要としている



この性癖の歪みは
僕に強い爪跡を
残している

だが
屈辱的な
変化がなければ

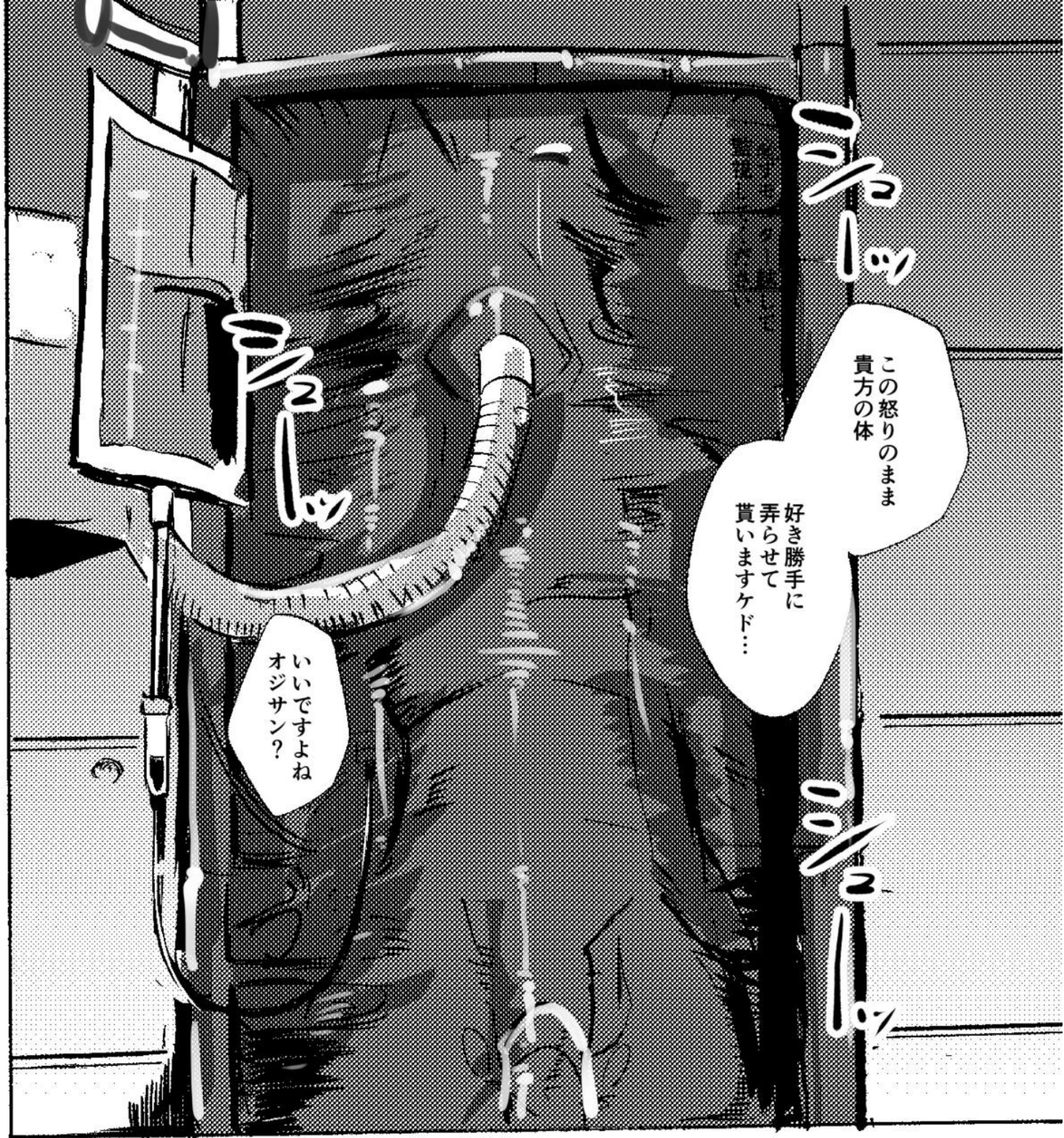
僕は悪を
憎み切ることが
できなかった

清濁入り混じって
いる事が
今の僕の強み

今の僕だから
容赦なく
あなたを
捕らえられた

怒りと
憎しみが
力になった

だから



この怒りのまま
貴方の体

好き勝手に
弄らせて
貰いますケド…

いいですよね
オジサン？



まず
貴方から出る
体液と体臭は

全て回収して
分析にかけます

味覚嗅覚
視覚聴覚
触覚

生理的なもの
性的な刺激も
電気信号で
与えてみましょう

ザーメンも尿も
糞便すら
垂れ流しにして
サンプルにさせて
貰います

一般スタッフの方は
必ずモニタ越しで
監視してください

今後彼は
視線を合わせる
だけで対象を
操れるように
なるので

採取した体液は
数時間ごとに
解析へ回して下さい

ブルーダッシュ
より提案された
完全防護被膜
正常に機能
しています

異常があったら
知らせて

はい！

はい

まずは
奴らの基地の
襲撃まで
完全密封

何も見えない
聞こえない
与えられるのは
僕らが与える刺激だけ

その間における
貴方の能力の成長も
すべて解析させて
もらいますケド

これからあなたには
「あなたを捕らえる」為の
研究材料でしかない

骨の髄まで
しゃぶり尽く
させて
もらいますよ

これから
長い付き合い
よろしく

オジサン

2019年
11月30日

私は最近
世間を騒がせ
ている

怪人による
犯罪の首謀者

そして貴方の
主人になる者です

貴方の頭脳が
必要です

協力して
くれますよね？

まずは
中に入れて
ください

それからじっくり
お話しましょう

はい…

どうぞ…
お入り
ください…

はたん

ほちゅっ

なるほど

博士はヒーロー選考に携わってたわけだ

最級候補

はい

でも仕事じゃ物足りなくて

ほちゅっ

色々と個人で開発をしています

それで

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ケツにちんぽハメるの

気持ちいいですか？

ちゅっ

はっはひっ

ほちゅっ

ウサギって
小さくてひ弱な
種族ですから

沢山子作りを
するために
性欲が
強いんですよ

だから
こうやって
アナルを
開発するのよ

興奮して痛みも
あんまり
感じないんです

やば…
気持ちよすぎて
おかしくなりそう

わっ
くすぐったい

この距離感は
慣れて
ないんだよ

そんな能力
持っておいて
くすぐったい
なんて



いいえ
個人的な
開発だけ
です...

ですが研究者として
そういう事も
積極的に
調べたくなるのは
当然の事でしょう



そういうの
童貞くさくて
私は好きですよ

もしかして
セックス
慣れてる？



どうしました？

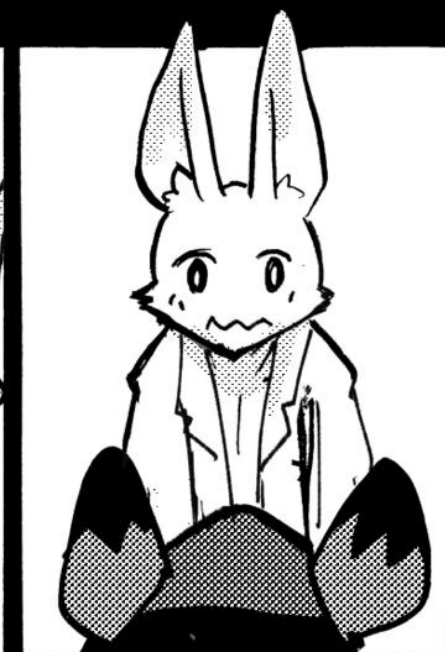
未来の博士って
髪ぼさぼさで
見えなかった
けど

目
かわいいな
って



兎に角
私の主人となる
怪人がそんな
感じでは困ります

たっぷり
交尾に慣れて
貫録を付けましょう





そんな事は
ないです!!

ない
ですよ?



あ...
うん...



顔に
出やすい!!



恐らく
博士は僕の
能力がなくても

わりと悪に
傾いて
いたような
気がする



僕の能力が
作り変えるのは
本人の望む姿



もう
いいから
もっと
してください

正直あなたの体臭...
臭いでると

えっちしたくて
たまらなくな
るんです

今はよりい
交尾しやすい
身体に

そしていずれ
僕に近い悪へ
心も作り替わる



すけべで

自分が
楽しければ
善悪に頓着ない

僕の欲望の泥を
デザインした
人物だけはある

身体に取り込んだ
本人の「欲」を素に
身体も心も
作り変えて
しまう能力

やば...

もっと...



その中でも
性欲が強めに
出るのは

きっと博士の
好みが反映されて
いるのだろう

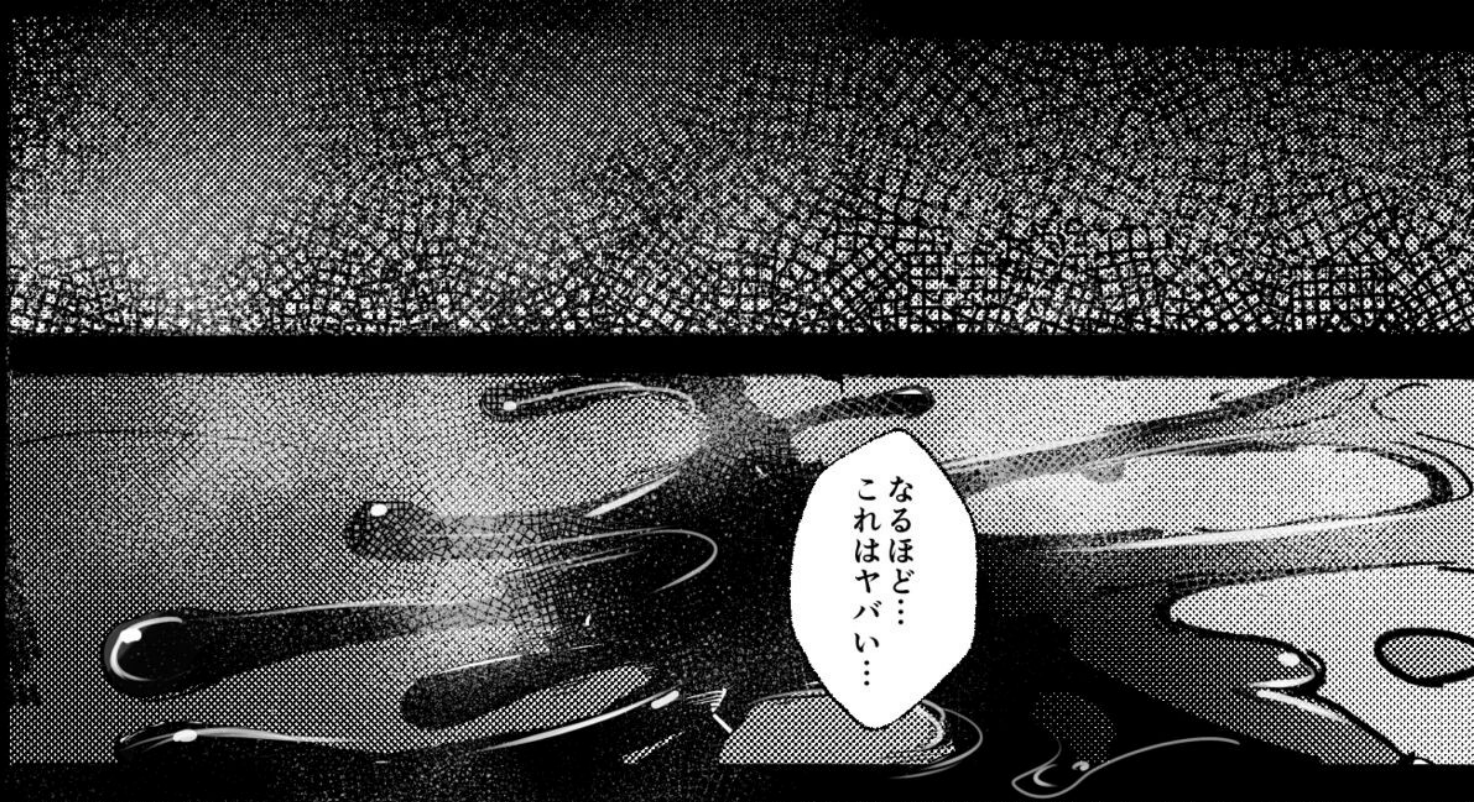
自分も
楽しめるように

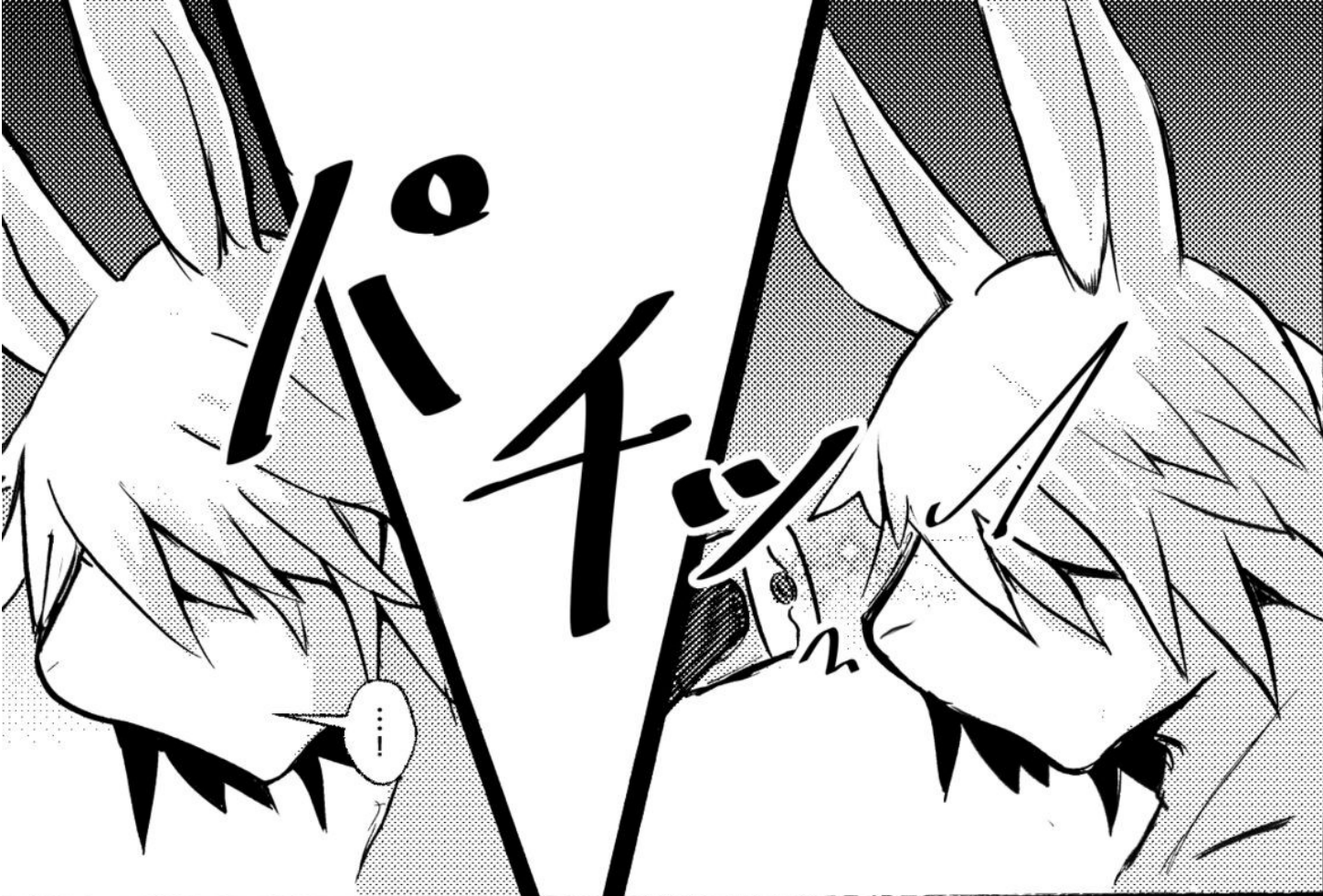
気持ちよく
なれるように

が!









細かい話は
置いておいて

すぐに
ご主人の能力の
レベルアップが
必要です

はちゅっ

その為には
ひたすら交尾して

オス慣れして

はちゅっ

オス臭くてイカ臭い
体臭をより強く
しなきゃならない

びゅるるる

出る

はちゅっ

はちゅっ





何より
童貞臭さを消す



オーバーライト
作戦の下準備です

むわあ...

ターゲットは
コードブルー

良い成績だが
マジメすぎる
所がある

こういう奴ほど
ご主人の能力で
ずぶずぶの
セックス中毒に
しやすい

私は組織に入り
この時代の
ご主人を改造して
タイムマシンを
完成させます

...よし

これで
フェロモンも
体臭も及第点

近づけば大人だろうが
臭いと思う前に
脳がメスになる

あとは貫禄のある
口調と態度を
心がけてくださいね

うん...
...じゃない

...ああ

それでは

作戦
開始だ

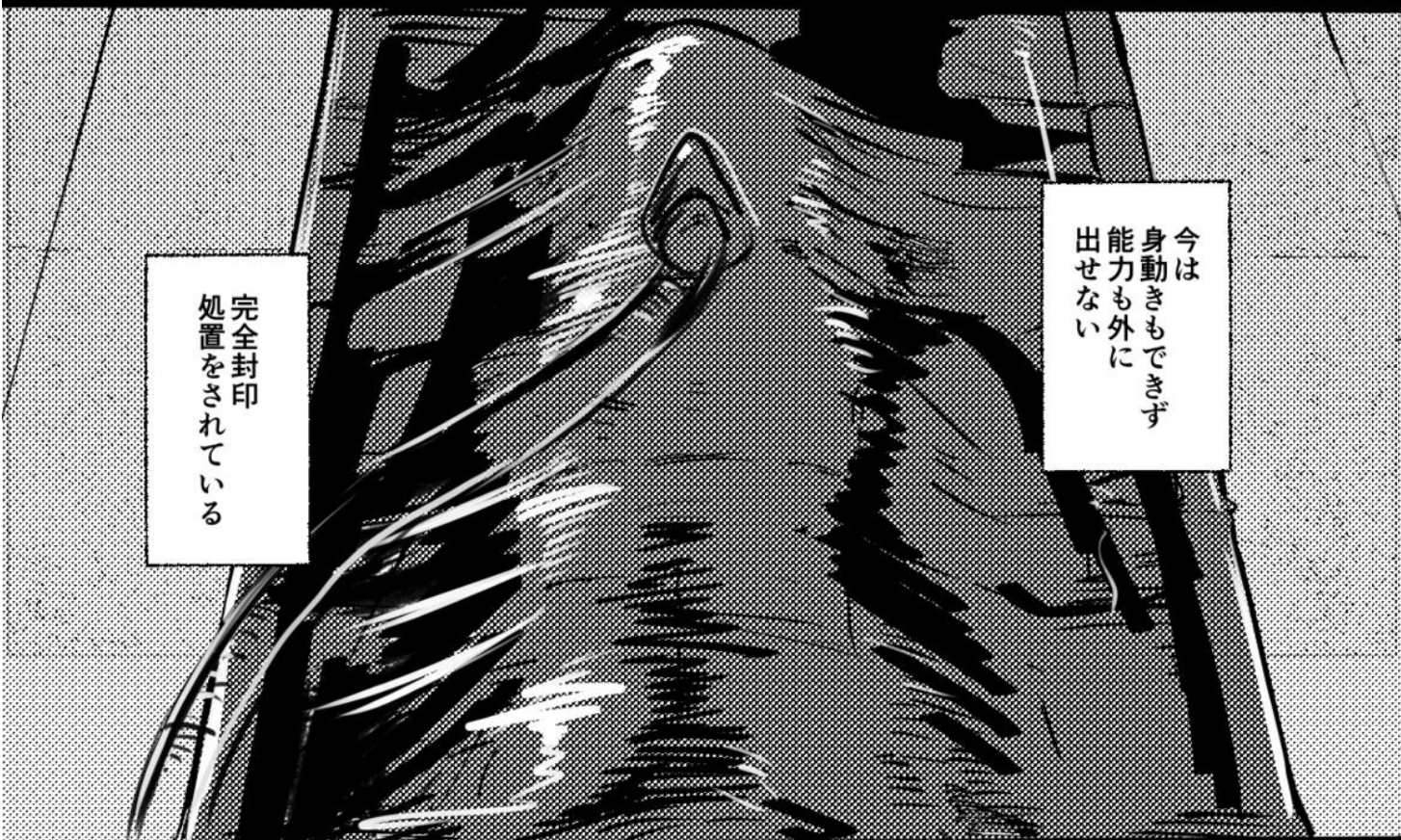


こうして俺は
猫塚セイギに近づき
彼を自分のものにし

万全の体制を
整えた

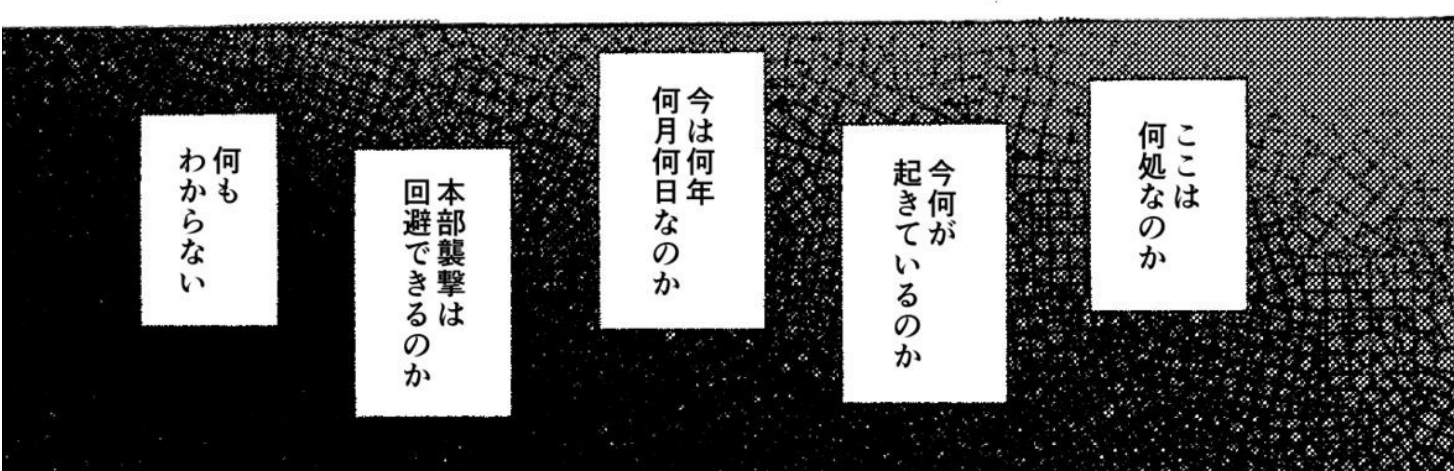
筈だった

なのに



今は
身動きもできず
能力も外に
出せない

完全封印
処置をされている



ここは
何処なのか

今何が
起きているのか

今は何年
何月何日なのか

本部襲撃は
回避できるのか

何も
わからない

この状況を
何とか
しようとして

より強いニオイと
体液を出せるよう
になった気がするが

被膜の外に
出す事が
できない

何時間経った

何日経った

今はいつなのか
何もわからない

何も

生きて
いるだけ

誰か…

あー

聞こえます？
正気を
保ててます？

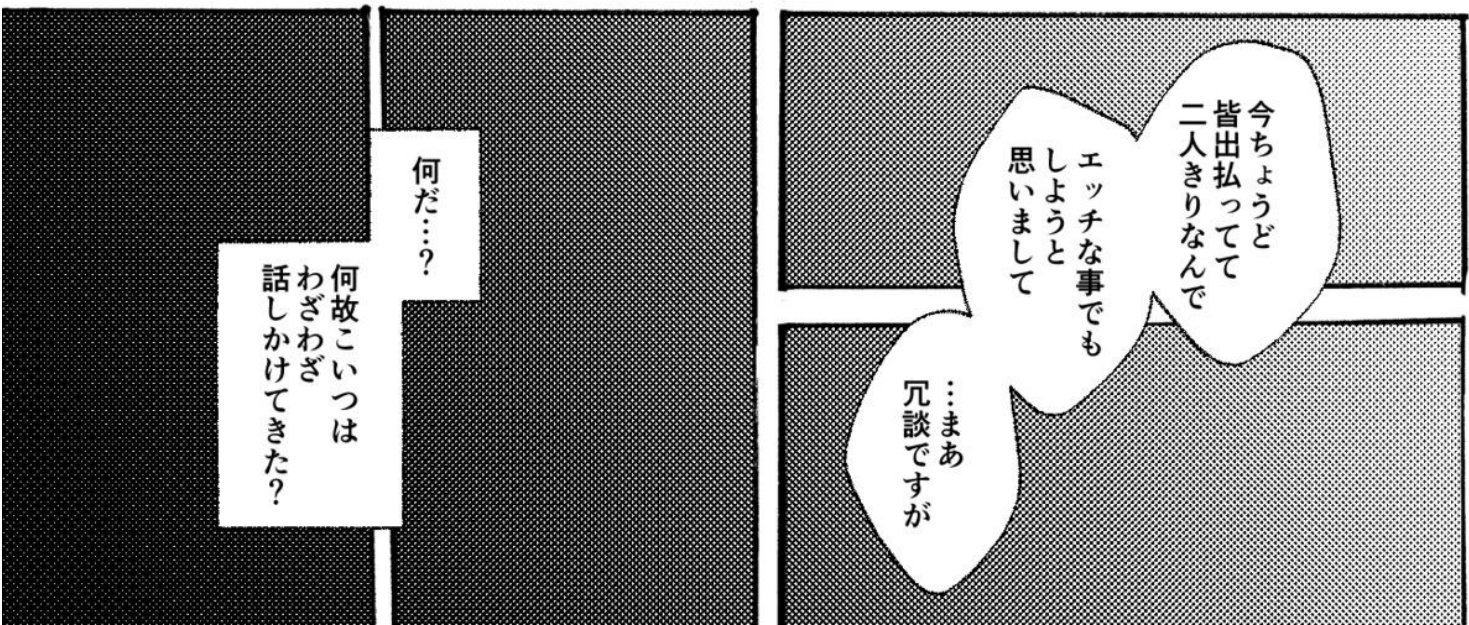
僕は
コードブルー
ダッシュ

一時的に
あなたの視界を
戻してあげます



見えますか

見えて
なくても
どうでも
いいんですがね



今ちょうど
皆出払ってて
二人きりなんで

エッチな事でも
しようと思ひ
まして

...まあ
冗談ですが

何だ...?

何故こいつは
わざわざ
話しかけてきた?



まあ
僕にとっては
あなたを
取り逃す以外

成功が確定している
作戦なんですがね



今日が
本部襲撃の日です

いや…
もう作戦は開始
しています



バイタルに
異常



怒っている
ようですケド

悪が仲間の事で
怒るなんて
初めて
知りましたよ



貴方が悔しがる
姿を見たくて
伝えに来たんですよ

ギョウウ



あんたの所為で
僕の性癖は
ぐちゃぐちゃ

オスにしか
性欲を抱けず

くっさい
ちんぽに興奮し

仲間を裏切り
悪へ導きすら
してしまった

それを糧に
僕は

あんたを
追いかけて
ここまで来た

あなたのニオイを
嗅ぐだけで
ケツが疼いて
仕方ない

犯して
貰いたくて
たまらなくなる
でも...

やれる事は
全てやった
ケツは使い
尽くして

乳首に
ピアスも
いれましたね

僕を
こんな体にした
あなたに
復讐する為に

先んじて充分に
欲を満たす事で
貴方の能力に
対抗できている

そういえば
僕どうやって
来たか言って
ませんでしたね

あなたが逃げた後
基地に残っていた
タイムマシン

有効活用
させてもらい
ました

すっ

!!



まったく
敵に兵器を与える
なんて愚かな…



再生されたのは
圧縮された
音声データ

たった
数キロバイトの
博士の音声

四年待て

僕には
それで
充分だった



この状況は
博士の計画の
範囲内だ



一年近く博士と
密に繋がっていた

二週目の僕
だからこそ
確信できる



4年…

耐える

暗闇で

実験体
として



であれば今、
本部襲撃を
阻止せずとも

まだ回避する
手立てがあると
いう事

まあいいです…
また来ますよ

正気
保ってて
くださいね

そのくらい
耐えて
みせる

オーバー
リライト作戦

続行だ

つづく

■あとがき

すみません、頑張ったのですが詰め込み切れませんでした。
もうちょっとだけ続くんじゃ。

表紙デザイン協力：てんぷら
スペシャルサンクス：くりやまりく、Sanmer
(敬称略)

◆overREwrite04◆

- ・発行：のっぺら工房 むじな
- ・発行日：2023/9/17 (電子版第2版 2023/10/13)
- ・印刷：株式会社 栄光様
- ・Mail：mujiiro@gmail.com
- ・Pixiv：73354
- ・X(旧twitter)：mujiiro

この本の一部または全部を複製、複写、インターネット上への無断アップロードを禁止致します。

